第三学年三組　算数科学習指導案

1 題材名　そろばん

2 本時の学習指導案(本時３／３)

　(1)　目標

　　○万の単位を含む数や、1/10の位までの小数の簡単な加法、減法のしかたを理解することが出来る。

　(2)　展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点 | 時間 |
| 1　教科書P201の7⃣の7+6のような計算の仕方を理解する。  　C1　昨日までのやり方だけでは解けないよ。    　C2　難しいね  2　7⃣の①～④の計算問題を解く。  3　7⃣と同様に、13-6のような減法での計算の仕方を理解する。  C1　さっきやった足し算と同じようにできるね。  4　8⃣の①～④の計算問題を解く。  問題場面      5　本時の問題場面について確認する。  　C1　2+6の計算と同じように解くことが出来るね。  　C2　一の位がどこか分からなくなりそう。  本時のめあて  6 教科書P201の1⃣の計算問題に取り組む。  7　7.2-3.4のような小数点を含む数の計算の仕方について理解する。  　　C1　72-34と同じように計算できるね。  　　C2　一の位と小数点の位を間違えてしまいそう。  8　2⃣の計算問題に取り組む。  9　本時のまとめをする。 | ○前時までの知識だけでは解けないことに気づかせ、既習事項の発展であることを確認させる。  ○難易度の高い問題であるため、教師が一度お手本として解き、解き方を確認する。  ○問題を解かせている間は机間指導を行い、進度の早い児童には新たな作業を与え、進度の遅い児童には隣でそろばんを使い指導をする。  ○各問題の答え合わせの際は児童を指名し、前に出てそろばんを使い計算させ、解き方を確認する。  ○減法での計算でも、加法で行った計算方法と同様に既習事項である補数を意識しながら行うことを確認する。  ○問題を解かせている間は机間指導を行い、進度の早い児童には新たな作業を与え、進度の遅い児童には隣でそろばんを使い指導をする。  ○各問題の答え合わせの際は児童を指名し、前に出てそろばんを使い計算させ、解き方を確認する。  2万+6万の計算をやってみよう  ○2万+6万が既習事項を活かして、解くことが可能であることを確認する。  ○どの定位点が一の位を示しているのかを確認し、その定位点を見失わないように、一の位を指で押さえさせる。  色いろな数の計算ができるようになろう  ○位取りの間違いに気をつけさせる。  ○各問題の答え合わせの際は児童を指名し、前に出てそろばんを使い計算させ、解き方を確認する。  ○7.2-3.4が既習事項を活かして、解くことが可能であることを確認する。  ○そろばんは十進位取り記数法で表されている小数も表すことが出来る良さに気づかせる。  ○位を間違えないように、定位点を意識させながら解かせるように指導する。  ○小数点を含む計算であるが、今まで習ってきた計算の仕方を利用して解くことを確認する。  ○各問題の答え合わせの際は児童を指名し、前に出てそろばんを使い計算させ、解き方を確認する。  技大きな数、小数の簡単な計算の運珠法を理解している。  　　　　　　　　　　　(数量や図形についての技能)  ○ノートにそろばんを使った感想を書かせる。 | 5  7  3  7  4  6  4  7  2 |

3 板書計画

7+6の計算方法　　　　　　　　　　　　　　13-6の計算方法

①6を足すために4を引いて10を足す　　　　①6を引くために4を足して10を引く

②4を引くために1を足して5を引く　　　　 ②4を足すために1を引いて5を足す

そろばん

計算問題の答え

計算問題の答え